

第 17 回 中山間地域振興特別委員会

令和元年 7 月 4 日(木)

(議会運営委員会終了後)

時 分 ～ 時 分

第 4 委 員 会 室

【出席者】 飛野委員長 布施副委員長 三浦委員 西川委員 川上委員 柳楽委員
串崎委員 上野委員 岡本委員 芦谷委員 永見委員

【議長団】

【委員外議員】

【事務局】 古森局長 下間係長

議 題

1. 「交通・通信・情報の確保対策」について（提言に向けて）

2. 行政視察について

3. その他

○次回開催 月 日 () 時 分

中山間地域振興に関する提言

(2 : 交通・通信・情報の確保対策について)

(たたき台)

令和元年 月

中山間地域振興特別委員会

はじめに

本委員会は、平成29年12月19日に議会の議決を経て設置され、1. 集落機能の維持対策、2. 交通・通信・情報の確保対策、3. 農林地の維持管理対策、耕作放棄・鳥獣被害防止対策、4. 安全・安心対策の四つの項目を中心に中山間地域の振興に関する調査及び研究を行うとともに、市に対し必要な意見及び提言を行うことを目的としている。

1つ目のテーマである「集落機能の維持対策」については、取りまとめの上、平成31年3月に、市の施策に反映されるよう提言を行ったところである。

平成31年4月からは、2つ目のテーマである「交通・通信・情報の確保対策」について、各種資料研究や執行部の担当課との意見交換、先進地視察などを行いながら、提言のとりまとめに向けて論議を重ねてきた。

このたび、その結果を、「中山間地域振興に関する提言（2 交通・通信・情報の確保対策について）」として取りまとめたところである。

1 経過

(1) 会議の開催状況

第14回委員会 平成31年4月24日

○調査・研究テーマの確認

○委員間の自由討議

第15回委員会 令和元年4月24日

○調査・研究テーマの担当課との意見交換

○先進地視察の視察先の調整

第16回委員会 6月12日

○提言に向けた委員間の討議

○先進地視察の視察先の決定

第17回委員会 7月4日

○提言に向けた意見集約

○先進地視察の確認

先進地視察 7月16日～17日

○高知県梼原町

「交通空白地域解消の取組み」「小さな拠点づくりの取組み」について調査

○岡山県高梁市

「ポケベル電波を活用した取組み」について調査

○岡山県新見市

「自動運転サービス実証実験の状況と活用」について調査

第 回委員会 月 日

○提言に向けた意見集約、提言について調整

第 回委員会 月 日

○提言（交通・通信・情報の確保対策について）の最終調整

【参考】平成31年3月の提言内容

【テーマ】自主性にとどまらない主体性の創造による地域活動の推進

～集落機能の維持・向上に向けて～

提言Ⅰ 地域の現状把握と話し合う場をつくること

提言Ⅱ 地域のサポート体制の充実、人材育成を図ること

提言Ⅲ 専門家のサポート体制を確立すること

提言Ⅳ 必要な予算を確保すること

3 提言

これまで述べてきたように、委員会の中で論議を重ねてきたところであるが、その意見集約の結果として、**交通・通信・情報の確保対策**について効果的と思われる内容を次のとおり取りまとめたので、市の施策へ反映されるよう提言する。

【提言のテーマ】

『**～交通・通信・情報の確保に向けて～**』

提言Ⅰ **交通空白地域の解消を図ること**

提言Ⅱ **情報発信のための通信環境整備を図ること**

4 まとめ

これまでの意見交換の内容

- ① 買い物・通院手段の確保（だんだん車が運転できなくなる）
 - ・ 5年後10年後を考えたうえで、提言を行うべきである。
 - ・ 大きな提言と小さな支援のかみ合わせが必要
 - ・ 各地域で求める内容が異なると考えられるため、地域ニーズ調査、提供者調査の実施の検討（民間路線バス、生活路線バス、民間タクシー、乗合タクシー、自治会輸送）
 - ・ 民間の資源活用、体力を活用した移動手段の検討
（例：介護福祉車両、貨客混載、相乗りタクシー、100円タクシー、カーシェアリング）
 - ・ ファミリーサポートセンターの「まかせて会員、お願い会員」のような形の地域でマッチングできる制度
 - ・ 先進的取り組みをしているところの紹介
 - ・ 自動運転導入の検討
- ② 幹線以外の枝線や私道の除雪・支障木撤去
 - ・ 公共交通を円滑に行うためには、道路整備、危険木・支障木の整備が必要とする視点から③以外は、大きな一つの課題として考えると進めやすいのではないか
 - ・ 幹線や重要な道路のチェックが必要
 - ・ 除雪に関しては、幹線と支線との対応に差がある。また自治区によっても差がある。自治区間の連携も加えるべき。
 - ・ 支障木伐採後の処理について課題と聞く。何らかの形で提言が必要。
- ③ 携帯電話・ラジオの不感地域解消
 - ・ インターネットの活用
 - ・ スマホアプリの活用
 - ・ ポケベル周波数の活用
 - ・ ケーブルテレビの活用
 - ・ 大きく二つに分けて整理してよいのではないか。
一つは、道路整備も視野に入れた交通インフラ整備について
一つは、通信環境の整備が情報へのアクセスをスムーズにすることであることから通信インフラ整備について、
- ④ 除雪等を担う建設事業所の減少・縮小
- ⑤ 公共交通を直接担う運転手の減少
- ⑥ 狭隘道路の多さ、車の回転場の必要性
- ⑦ 高校への通学手段
 - ・ 通学バスを運行していない学校には、通学のための便が少なく、待つまでの場所の課題もあり、入学しないとの声も聞く。その対応も加えるべき。

高知県梶原町

①「交通空白地域解消の取組みについて」

- ・ 交通空白地有償運送について
- ・ 運営母体の組織化までのプロセスについて
- ・ 事業着手時の資金の工面方法について
- ・ 運転者の確保と研修などに関する取組みについて
- ・ 地元タクシー事業者の反応について

②「小さな拠点づくりの取組みについて」

- ・ 集落活動センターの体制、町との関係、関与などについて
- ・ 公民館と地域運営組織との関わりについて
- ・ 区長の選任方法、身分、該当者（どのような方）について

岡山県高梁市 「ポケベル電波を活用した取組みについて」

- ・ ポケベル電波利用の活用分野について

（例：行政や他（交通・スーパー・病院）への連絡、子ども安全安心、高齢者見守り、災害避難、鳥獣被害防止（忌避など）、住民相互コミュニケーション）

- ・ 導入にあたって検討されたほかの手法について。

- ・ ポケベルによる防災無線システムが優れている点について

（携帯電話等の他インフラやデバイスと比較して）

- ・ 機器のスペックについて

（電池式？停電時にどれくらいの時間機能するのか）。

- ・ 事業予算について（財源、補助制度など）。

- ・ ポケベル周波数帯域を使った防災ラジオについて

（加入率、使用料金について）

- ・ 貸与の条件の『市が定める運用ルール』の内容について

- ・ 昨年の豪雨災害時における防災ラジオ導入の効果について

- ・ 280MHz デジタル同報無線システムのイニシャルコスト（送信局・専用光回線など）とランニングコストについて

岡山県新見市 「自動運転サービス実証実験の状況と活用について」

- ・ 実証実験に至るまでの行政手続きについて

（実証実験にかかる準備事項、住民説明、予算規模など）

- ・ 事業予算について（財源、補助制度など）
- ・ 自動運転区間の電磁誘導線の敷設方法と敷設費・管理費について
- ・ 実際の運行の状況について（利用者数、年齢区分、利用の目的）
- ・ 実験に対する導入及び活用における住民の反応（声・評価）について
- ・ 運転手不在で走行中の心理的影響について
- ・ 公募型として認定された理由について
- ・ 乗車モニター募集結果について

（男女別・50 歳以上免許証無し・免許証返納または予定者の内訳）

- ・ アンケート調査結果について（特筆すべき事柄）